



ペットフードの原材料

# 穀物：ペットに対する豊富な栄養素供給源



穀物は、単なる「かさ増し」としてのみ使用されている、または食物アレルギーの原因になる可能性があると思われている人がいます。しかし実際には、穀物はペットフードの有益な栄養素供給源です。

## キーメッセージ

- 穀物とは、トウモロコシ、小麦、オーツ麦、米、大麦、ライ麦などを含む、穀倉の種をいいます。
- 穀物は、ペットフードでは可溶性炭水化物の供給源として主に使用され、体内のすべての細胞の重要なエネルギー源であるグルコースを提供します。穀物は、タンパク質、食物繊維、必須脂肪酸、ビタミン B 群、ミネラル類などの栄養素ももたらします。
- すべての穀物にグルテンが含まれているわけではありません。小麦、大麦、ライ麦に含まれるグルテンは、セリアック病に罹患している人で免疫反応を誘発する可能性があります。グルテンアレルギーは犬ではきわめてまれで、猫では同定されていません。ペットでは、小麦やトウモロコシなどの穀物よりも、牛、乳製品、鶏に対するアレルギーが起こりやすい傾向にあります。

## その他のリソース

Masisi, K., Beta, T., & Moghadasian, M. H. (2016). Antioxidant properties of diverse cereal grains: A review on in vitro and in vivo studies. *Food Chemistry*, 196, 90–97. doi: 10.1016/j.foodchem.2015.09.021

Jaworski, N. W., Laerke, H. N., Knudsen, K. E., & Stein, H. H. (2015). Carbohydrate composition and in vitro digestibility of dry matter and nonstarch polysaccharides in corn, sorghum, and wheat and coproducts from these grains. *Journal of Animal Science*, 93, 1103–1113. doi: 10.2527/jas.2014-8147

Verlinden, A., Hesta, M., Millet, S., & Janssens, G. P. J. (2006). Food allergy in dogs and cats: A review. *Critical Reviews in Food Science and Nutrition*, 46, 259–273. doi: 10.1080/10408390591001117

Purina Institute は、ペットがより長く、より健康的に生きるための、科学に基づく顧客に寄り添った情報を提供することで、ペットの健康に関する議論の最前線に栄養を位置付けることを目指しています。